

2019年11月13日

台風19号上陸に伴う影響等について

10月12日に上陸した台風19号の影響により、2週間以上にわたり東北線等が不通となり、お客様をはじめ関係の皆様にご多大な御迷惑をお掛けしました。

東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）の懸命な復旧作業の結果、10月29日の東北線運転再開により全線で運転を再開しましたが、この間、JR各社や利用運送事業者のご協力により、迂回輸送やトラック・船舶による代行輸送を実施してきました。

今回の影響及び実施した対応について、以下のとおりお知らせします。

当社は、今回の災害等の影響を踏まえて引き続き対策の検討を進め、貨物列車の運行に関してより一層安全・安定輸送の向上に努めてまいります。

1. 主な不通線区と運転再開日（別紙1参照）

- ・東北線 10月29日再開
- ・中央線 10月28日再開
- ・武蔵野線 10月20日再開
- ・しなの鉄道北しなの線 10月18日再開

2. 運休本数

コンテナ列車 1,113 本、車扱列車 83 本、合計 1,196 本

3. 東北線不通に伴う対応

（1）迂回列車の運転

- ①運転区間・期間 別紙2参照
- ②1日あたり輸送量（最大） 600個（12フィート換算）

（2）トラック代行輸送・折り返し列車の運転

- ①実施区間・期間 別紙2参照
- ②1日あたり輸送量（最大） 440個（12フィート換算）

（3）船舶代行輸送

- ①実施区間・期間 別紙2参照
- ②1日あたり輸送量（最大） 84個（12フィート換算）

※上記対応により不通区間輸送量の最大約25%をカバーしました。

（4）石油輸送の対応

東北線郡山貨物ターミナル駅～岩沼駅間が運転再開後、仙台臨海鉄道線仙台北港駅から郡山駅へ臨時列車による輸送を行いました。

4. 中央線、武蔵野線不通に伴う対応

運転再開までの間、石油列車について、根岸駅、川崎貨物駅から山手貨物線、南武線経由で八王子駅、倉賀野駅、宇都宮貨物ターミナル駅への迂回輸送、京葉臨海鉄道線浜五井駅から八王子駅、宇都宮貨物ターミナル駅への行先変更による輸送、関西線塩浜駅から中央西線経由で坂城駅、竜王駅への発駅変更による輸送を行いました。

5. 今回の災害に伴う減送量（暫定値）

393千トン



凡例 **✖** 主な災害箇所等
 吹き出し中、赤字は当社設備

・「夕」は「貨物ターミナル駅」の略

台風19号の影響による代行輸送・迂回運転

- 【凡例】
- ⇄ 折返し運転
 - ⇄ 迂回列車運転
 - > トラック代行
 - > 船舶代行

